

## 新たな行財政改革大綱策定に係るパブリックコメントの実施結果

- 1 実施期間 令和5年1月4日（水）～令和5年2月3日（金）
- 2 閲覧場所 玉野市ホームページ、市役所2階情報公開室、図書館、各市民センター、すこやかセンター、ミネルバ
- 3 応募結果 本件のパブリックコメントの募集に対して5名から意見が提出された。

### 4 提出されたパブリックコメントと意見に対する市の考え方

※区分・項目名等は、「行財政改革大綱 実施計画」の取組項目番号・取組項目名を記載しています。

区分・項目名等	意見	意見に対する市の考え方
全般関係	<ul style="list-style-type: none"><li>・歳入確保対策だけでなく、併せて歳出の削減対策についても検討すべきではないのか。支出に無駄はないのか、生活保護等の手当ては適正か、等々。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・前回の行財政改革大綱（第7次）では、深刻な財政状況の悪化が見込まれたことを受け、主に歳出削減等の財政規律の視点を踏まえた取組を行ってきました。</li><li>・その結果、財政指標や基金残高は改善傾向にあること、また、前回の行財政改革での取組や効果を引き続き維持していることから、今回の行財政改革大綱では、市民サービスに極力影響の少ない歳入確保の取組に積極的に取り組んでいくこととしております。</li><li>・直接的な歳出削減の取組ではありませんが、公共施設再編整備による施設の廃止や統廃合等によるコスト削減など、中長期的にみると大きな歳出削減につながる取組についても推進していくこととしております。</li><li>・なお、生活保護費等については国の基準に基づき適正に支給しております。</li></ul>
2 ふるさと納税の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・体験型のプレゼントをもう少し増やしてはどうでしょうか。例えば、船釣りと玉野温泉のセットとか、マスカット狩りや銅製品作成体験などはどうでしょうか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本市の魅力を感じてもらえるような体験型・滞在型の返礼品を増やすことが課題であると認識しておりますので、ご提案いただいたご意見も参考にし、市の魅力が伝わるような体験型・滞在型の返礼品の充実に努めてまいります。</li></ul>

区分・項目名等	意見	意見に対する市の考え方
2 ふるさと納税の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットでふるさと納税について調べたくて、「玉野市 ふるさと納税」で検索すると、「JALふるさと納税」のサイトになったのですが、色々たくさんの方が書いてあって、内容がわかりにくいように感じました。自治体の紹介箇所「自然を満喫できる」とありますが、返礼品一覧から、自然体験型の品を見つけることができなかつたので、この場で、玉野の魅力を最大限PRできるような改善がされるといいなと思いました。</li> <li>・また、ふるさと納税の概要について、ネットのサイトだけでなく、人がPRし、疑問など解決出来れば、さらなる利用推進に繋がるのではと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体の紹介欄に「渋川海岸」「王子が岳」など、自然を満喫できるスポットがありますと記載しておりますが、「渋川海岸」「王子が岳」で体験できる返礼品は現在ありません。いただいたご意見を参考にし、市の紹介スポットと体験型返礼品をリンクさせた市の魅力をPRできるような体験型返礼品の開発に取り組んでまいります。</li> <li>・現在は、インターネットサイトを通じたふるさと納税のPRに留まっているため、今後は、市外で開催されるふるさと納税のイベント等を通じて、ふるさと納税のPRをはじめ、返礼品や市のPR等につきましても検討してまいります。</li> </ul>
2 ふるさと納税の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々寄附額が増えているということですので素晴らしいと思います。課題に書かれている体験型・滞在型というのがとても気になります。その充実を図れば、玉野の独自のふるさと納税の形ができると思います。ぜひぜひご検討ください。</li> <li>・単にレクリエーションだけにとどまらず、モノを作る、企画を一緒に考える、小学校、中学校、高校に体験として来てもらう（たとえば外国の方）、まつりを一緒にしてくれる人など地域との交流の中から地元の人もまた自分の“住むまち”の再発見にもつながるかも・・・と。そうすればいろんな人が“たままたまのを またまたたまの”にできるのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の魅力を肌で感じてもらえるような体験型・滞在型の返礼品のさらなる充実を図り、本市の魅力向上に努めてまいります。</li> <li>・体験型・滞在型返礼品を通じて市の魅力を伝えることにより、関係人口の創出・拡大に繋げてまいります。</li> </ul>

区分・項目名等	意見	意見に対する市の考え方
3 公有財産を活用した歳入確保 5 使用料・手数料の見直し 8 未利用地の処分	<p>公有財産の活用 使用料・手数料 未利用地の処分 について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定性計画に加えて具体性のある定量的な目標があっても良いのではないかと。現状が不明な上、将来的にどのように、どのくらい財政に貢献させるのか見えてこない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公有財産を活用した歳入確保」については、計画初年度である令和5年度に仕組みを構築することとしているため、現時点では定量的な目標を設定しておりません。毎年度の実施計画の見直しの中で、定量的な目標の設定について検討してまいります。</li> <li>・「使用料・手数料の見直し」については、計画初年度である令和5年度に「基本方針」を改訂し、見直し対象となる使用料、手数料の洗い出しをすることとしているため、現時点では定量的な目標を設定することは困難な状況です。毎年度の実施計画の見直しの中で、定量的な目標の設定について検討してまいります。</li> <li>・「未利用地の処分」における成果指標は、売却件数として毎年1件を計上しております。</li> </ul>
4 競輪事業の収益増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競輪場が新しくなりホテルもできて、もっともっと活性化されるといいなと思います。親子で楽しめるイベントなどの企画をぜひやってもらいたい。バンクの傾斜でのイベント（あの傾斜を活かしたものを企画募集するとか）。バンクでのライブの企画、運動会など市民が集いやすい親しみやすい企画から競輪に対する意識を向上してもらおう。今考えておられる取組にも積極的にやってもらいたいです。ロケーションは素晴らしいところなのでそのあたりをもっともっとアピールしてほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度から当面の間は、他の競輪場に貸し付けての開催など、玉野競輪場でのレース開催に多く使用するもの、ご提案いただいたご意見も参考にしながら、競輪開催に支障のない範囲で検討してまいります。</li> <li>・また、バンクを使用するにあたっては、傾斜等バンクが特殊であることや、レース開催が主目的であるためバンクを傷つけることがないように十分留意する必要があります。</li> </ul>

区分・項目名等	意見	意見に対する市の考え方
6 公共交通運営事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーバスは、シータクと共にネーミングが気に入っています。利用者の負担増は避け、利用者数に合った車体のサイズダウンを検討し、市民の足としてこれからも走るのいいのではと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーバスを維持するためには、今後、人口減少を見据えながら運行車両のサイズダウンを検討するなど、維持費用の縮減を図る必要があります。</li> <li>・一方で、シーバスは、利用者の要望等を取り入れながら、利用しやすいダイヤ・ルートとして市民の生活交通手段を支えており、その運行には一定程度の維持費用が必要であることから、今後、玉野市地域公共交通会議において、適正な運賃の設定について論議を行うこととしております。</li> </ul>
6 公共交通運営事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たしかに現在の社会情勢から100円を維持するのはなかなか難しいのかもしれませんが。課題にも書いてありますが、車両のサイズダウンをして、本数やルートを考え直してもいいのではないのでしょうか？軽自動車での運行をしている地域もあると聞きます。今のニーズと今後予想されるニーズをうまく取り入れてもらえたらと思います。買い物困難な方、病院に通えない方など、行先がはっきりしているものは対処の形を変えるなど、柔軟な対応が必要になると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーバスを維持するためには、今後、人口減少を見据えながら運行車両のサイズダウンを検討する必要があると考えております。</li> <li>・本数やルートについても、これまで、利用者の要望や利用状況に応じて、適宜見直しを実施してきたところですので、引き続き、必要に応じて見直しを実施してまいります。</li> <li>・今後も、コミュニティ交通の維持に向けて、社会情勢や今後のニーズ等を注視しながら、柔軟な対応に努めたいと考えております。</li> </ul>
7 葬祭制度の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たしかに全てを無料にしておくことはないと思います。少しずつ負担してもらうことは必要になってくるでしょう。ただ、本当に困窮されている方は、無料のままがいいと思います。市の基準があればいいのかなと（あるのであればそれで）。亡くなられたことでさらに困る家庭には“やさしい玉野市”でいてもらいたいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の取組は、葬祭費無料制度自体を廃止するものではなく、受益者負担の適正化を図るため、現行の待合室使用料を適正な額に見直すものであり、その内容については、他市の状況や必要経費などを勘案しながら検討してまいります。</li> </ul>

区分・項目名等	意見	意見に対する市の考え方
8 未利用地の処分	<ul style="list-style-type: none"> <li>未利用地の事業化の目処が立たないのはなぜなのか。歯医者や美容院ばかり増えるのではなく、近隣の市にあるような食事処や衣料品店を誘致してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が保有する未利用財産は、市場性が低いものや用途の規制があるもの、また、地元との協議が必要なものなど、複数の要因で直ちに民間での活用に結びつきにくいという現状があります。これらの課題を整理した未利用地については、市内外問わず様々な企業に働きかけを行っておりますが、よく知られている飲食店や衣料品販売店などのナショナルチェーンには、土地の面積、形状、幹線道路への接続状況、交通量や周辺人口など出店に当たっての条件が設けられていることが多く、これらの条件を満たすことができず、誘致に至っていないのが現状です。</li> <li>なお、店舗誘致に関する補助ではございませんが、小規模かつ新規創業を支援する補助制度がありますので、様々な手法を検討しながら未利用地の活用に努めてまいりたいと考えております。</li> </ul>
10 公共施設再編整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「著しく老朽化している公共施設の質と量の最適化」といった、人命にかかわるような事案は、スピード感を持って対応していただきたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等の老朽化に対しては、公共施設等の長寿命化と予防保全型の維持管理体制を確立し、スピード感を持って対策を講じてまいります。</li> </ul>

区分・項目名等	意見	意見に対する市の考え方
11 幼保一体化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、園児数の減少が、よりよい成長・教育の弊害になっているようには感じません。むしろ、保育者の目が行き届いている点で、安心して預けられています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児数が減少し、子どもの集団が小規模になれば、子どもと丁寧なかかわりができ、きめ細かい教育・保育が可能となる反面、人間関係の固定化や各行事の縮小化といった状況が生じる可能性があります。</li> <li>・他方、大規模な集団であれば、人間関係が多様化し、行事も多彩な展開が可能となる反面、一人ひとりの園児を大切に教育・保育の展開に、より多くの工夫や配慮が必要になります。</li> <li>・これらのことを十分に考慮し、適切な規模による子どもの育ちの場を確保するなど、子どもたちの成長にとってよりよい教育・保育の提供ができる環境を整えることが重要であると捉え、その実現に向けた取組として幼保一体化を推進してまいりたいと考えております。</li> </ul>

区分・項目名等	意見	意見に対する市の考え方
12 小中学校の適正規模化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず小学校と中学校ではその形態も役割もかなり違います。小学校はやはり地域密着、あまり登下校に時間がかからないようにしてあげたいと思います。少なくなったからまとめてしまうというのでないことを願います。中学校はまた違ったあり方が求められると思うので、ぜひぜひ急ぐことなくじっくりとご検討頂き市民の声をしっかり集めてから計画をすすめてほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の適正規模化については、現在検討委員会に諮問中であり、検討委員会からの答申に基づいて計画を策定する予定としております。いただいたご意見は検討委員会にお伝えするとともに、計画策定時の参考とさせていただきます。</li> </ul>
12 小中学校の適正規模化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今、少子化による世帯規模の縮小、児童数の減少が目立っているように思う。特に小学校は一学年に1クラスしかない学校が増えていき、少年団の活動も減少、それに伴い中学校の部活も存続できなくなっていると聞いている。このような環境の中での子どもの成長を見守るのは不安があるのではないか。</li> <li>・今子育て中である現役のお父さん、お母さん方の意見を重視し、学校の統廃合を考えていくべきではないか。子どもたちの将来も考え、視野を広げる意味でも重要だと思う。</li> </ul>	

区分・項目名等	意見	意見に対する市の考え方
<p>13 教育サポートセンターの移転先の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中心市街地等への移転」とありますが、現在のサポートセンターの場所は学ぶ環境としてはとてもいいと思います。公共交通機関がないといっても、そこに公共機関で通える子どもはどれくらいでしょうか？</li> <li>・たしかに市の西側という東地区の方には遠い場所ですが、だからこそその広さや設備（中心市街地でないということ）があるように思います。</li> <li>・もちろん場所だけでなくサポート機能についても検討されるとのこと。社会の変化によりサポートの形も変わるのだと思います。どうぞよろしく願いいたします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の教育サポートセンターの場所について、自然豊かで学ぶ環境には適していると認識しておりますが、近年の施設利用児童生徒の増加に伴い、市内全域から利用者が訪れることを考慮いたしますと、相談支援体制を充実させつつ、より交通の利便性の高い中心市街地へ移転を検討する必要があると考えております。</li> <li>・しかしながら、移転先の検討にあたっては、センターの機能や役割、利用者の状況や特性等を踏まえ、利用者が安全・安心に利用できるように、利便性だけでなく、安全面や施設内外の環境・設備等についても十分考慮しながら進めてまいりたいと考えております。</li> </ul>